

安心・安全な小人数学級を求める！ — 共産党市議団が意見書提案 —



日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
岡野長寿
090
2095-5792
三浦とおる
090
1019-8791

安心・安全な小人数学級を求める意見書

首都圏を中心に新型コロナウイルスの感染確認が再び増大し、収束に数年かかる可能性もあると言われています。また、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議は、「新しい生活様式」として、「身体的距離の確保」を呼びかけ、「人との間隔はできるだけ2メートル(最低1メートル)空けること」を基本としています。現在の「40人学級」では、2メートル空けることはおろか、1メートル空けることも困難です。

加えて、長期の休校によって、かつてない学習の遅れと格差が生まれています。この解決のため、詰め込み教育ではなく、一人ひとりの子どもに丁寧に寄り添い、心のケアにしっかりと取り組む手厚い教育が必要です。

クラスを半分にした分散登校中の小人数授業で、一人ひとりの顔がよく見えることや、授業がよくわかることを、先生や子どもも実感しました。

OECD諸国の中で、日本の40人学級は学級規模が最大級となっており、このことから、多くの自治体で30人学級や35人学級が実施されてきましたが、自治体レベルでこれをさらに改善することや、継続実施することは財政上非常に困難です。

よって、政府におかれましては、コロナ対策としての安全な学校、一人ひとりに行き届いた教育を実施するという観点から、小人数学級の実施に踏み切っていただきますよう、強く要望します。

令和2年 9月 日
尾道市議会

内閣総理大臣 安倍晋三 殿
文部科学大臣 萩生田光一 殿

文科省が小人数学級実施に向け、来年度予算に概算要求か？

コロナ禍の下、今、全国的に小人数学級を求める運動が広がっています。少人数学級を求める教育研究者有志が「子ども一人ひとりを大切に、感染症にも強い小人数学級を求める署名」活動を展開中です。

呼びかけ人からのメッセージには、「コロナは私たちに色々なことを教えてくれた。学校がな

いとこんなにも大変だということ。分散登校でクラスの数や半分に変わった時、先生は少しゆったりして、子どもは授業がいつもよりわかる気がした。」とユニークな表現で、小人数学級の必要性を訴えています。学校の校長会と文科相の会談でも前向きな動きが見られます。尾道市議会も一石を投じたい。

9月7日、10時から議会運営委員会が開かれ、三浦とおる委員が、共産党市議団が提出した「安心・安全な小人数学級を求める意見書(案)」について趣旨説明を行いました。全文は左記のとおり。

みうら君の生活一口メモ 猛暑に巨大台風、異常気象はなぜ起きるの

みなさん、おはようございます。市議のみうら君です。「これまでに経験したことのない大雨や暴風から命を守る避難行動をしましょう」とテレビが毎日のように注意喚起をしていた台風10号が通りすぎました。九州を中心として大変な被害が出ています。被害を被られた方々に心よりお見舞い申し上げます。また、今年の異常な猛暑は今も続いています。このような異常気象が何故起きるのか？どうすれば容易いのか？異常気象が続くとどうなるのか？これから2週間、皆様と一緒に考えていきましょう。

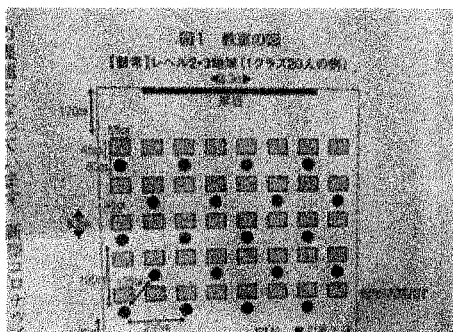
答えは簡単です。地球の温暖化の原因がある。地球の温暖化は、温室効果ガスが増えることで起こります。地球の温暖化は、温室効果ガスが増えることで起こります。地球の温暖化は、温室効果ガスが増えることで起こります。

地球の温暖化は、温室効果ガスが増えることで起こります。地球の温暖化は、温室効果ガスが増えることで起こります。地球の温暖化は、温室効果ガスが増えることで起こります。

地球の温暖化は、温室効果ガスが増えることで起こります。地球の温暖化は、温室効果ガスが増えることで起こります。地球の温暖化は、温室効果ガスが増えることで起こります。

40人学級のままで、1メートルも確保できません。

今後の小人数クラスのイメージ



1教室20人だと最低1メートルはクリアできます。

